

ヨゼフ・ミスリヴェチェク 《アンティゴーナ》 (1774、トリノ)

先王オイディプスが自己の呪われた運命を知って盲目となり『オイディプス王』、放浪の末にこの世を去った(ソポクレスの『コロノスのオイディプス』)後、その子アンティゴネとイスメネの姉妹はテーバイへ戻りました。しかしテーバイでは王位にあった兄エテオクレースが、王位を巡って攻め寄せたもう一人の兄ポリュネイケースと刺し違えて死に、叔父のクレオンがテーバイの統治者となりました。

クレオンは反逆者であるポリュネイケースの屍を葬ることを禁じますが、アンティゴネは自ら城門を出て、市民たちの見ている前で兄の死骸に砂をかけ、埋葬の代わりとしました。そのため彼女は、クレオンによって捕らえられ、地下に幽閉されます[アンティゴネとクレオンの対立は、即ち「神の法(ピュシス)」と「人間の法(ノモス)」の対立とされる]。アンティゴネはそこで自害し、その婚約者であったクレオンの息子ハイモーンもまた彼女を追って自刃しました(ソポクレスの『アンティゴネ』)。

1. オペラの粗筋

オペラは、ソポクレスの物語の続編です。アンティゴーナ[アンティゴネ]は彼女の人生を終わらせるのではなく、近くの森に逃げ込んでいます。

彼女は、皇位篡奪者のクレオンテ[クレオン]が占領していた王位を取り戻す決意です。このために、彼女は夫でありクレオンテの息子であるエウリストオ[エウリュステウス]の助けを求めます。エウリストオは夫と息子としての彼の義務の間で引き裂かれます。アンティゴーナが死んだと信じているクレオンテは、妹によって密かに育てられた捨て子であるエルミオーネ[ヘルミオーネ]に息子を割り当てます。クレオンテはアポロの巫女に、結婚式のために彼らの仲間の一人を送るように頼みます。彼らが選んだ代表者は、以前に彼らの儀式に加わったアンティゴーナに他なりません。アンティゴーナは、この機会をテーベ[テーバイ]の暴君に復讐することを可能にする神の使命であると考えます。さて、神託はこの結婚について、神々を喜ばせるためにはエルミオーネを犠牲にしなければならないと答えました。アンティゴーナが若い女の子に剣を下ろすと、首の周りに、森の中で彼女から連れ去られた幼児が所有していたメダリオンを発見し、若い女の子が自分の娘エルミオーネであることに気付きます。そしてエウリストオは2番目の妻が彼自身の娘であることを知るので、アンティゴーナは反乱の疑いを鎮めるためクレオンテを送るなど戦略を進め、最後に王位を奪い、クレオンテは追放され、アンティゴーナに忠実な宮殿の警備員であるレアールコがエルミオーネと結婚します。

2. オペラの主題 [リブレットより]

エテオクレ[エテオクレース]とポリニーチェ[ポリュネイケース]兄弟は紛争で刺し違えて死にましたが、この殺戮に多大な原因を作ったクレオンテは、王宮から巧みに離れて奸計を隠し、彼らの死をほとんど聞いていなかったため、テーベ[テーバイ]に飛び、王位を占領して——同じ父母から生まれたアンティゴーナも亡くなっている[と彼は信じた]ので——カドモスの血統を引くのは自分ひとりだけと考えました。兄弟たちが埋葬されていないのを見て、彼女は同情し、暴君の禁止に反して埋葬しました。暴君は憤慨し、王位に身を置くために、彼の息子であるエウリストオ[エウリュステウス]にその配偶者を殺すように課しました。エウリストオはこの命令に震え、処刑が別人の手に渡らないように、その実行を想定して、彼女を森の中に導きました。そしてため息をつき、逃げることは自分を救うはずだと彼女に忠告しました。そして暴君のところ(彼は長い間宮殿から離れていたのアンティゴーナは知らなかった)に戻り、父の命令を実行したと主張しました。

アンティゴーナは、夫を残して逃げるとき、すでに妊娠していました。やがて、彼女は、子供を産みました。ある日、彼女がメデの森で食事を与えているとき、獣に襲われそうになり、地面に横たわったままでいました。そこで群れを養っていたメデの羊飼いの一人であるアルチェステ[アルケステス]は、一人でいる幼女を見つけたので、連れて小屋に戻り、自分の子として育てました。5歳に達したとき、彼女はテーベに連れて行かれ、そこで暴君と同じ父母から生まれたエウリノメの目にとまり、彼女の性質が好まれました。彼女はアルチェステのところに留まり、エルミオーネ[ハーマイオーネ]という名前の王女として教育を受けることになりました。15歳の年齢に達して、彼女の容姿の良さを暴君は観察し、彼女の運命と王国の成り行きについて神託に相談しました。そして得た回答は：

森のきよげに麗しき乙女、自ら贈り物捧げずは、王国、王位はテーベの怒りより免れがたし。

かくて、婚姻結ばれ、その人物明らめられ、そが平和もたらし、王国ゆかりの衆を助け、防御にて役立たん。

この託宣に混乱し、怯えた彼は、森の処女の贈り物とは、彼の息子エウリストオ(寡夫と信じられ、後継者なしとみなされていた)の配偶者にエルミオーネを割り当てることだと考えました。したがって、堅い意志で、その結婚式が計画されました。

また、王位に就く際に彼は、毎年初めに王国の生け贄を神々への犠牲にすることを誓っていましたが、外国の意見を求めるべく、ベオツィア[ボイオーティア]にテミの使者とアポロの使者を送りました。彼らは何人かを前述の犠牲のために送ることを要求しました。そして彼は、最初の神託の説明と、神々がその結婚式に予言した運命をよりよく理解するために誰を送ってくるができるだろうかと神託に相談しました。

さて、その祝典の中に、使者アンティゴーナの姿がありました。彼女はその仲間に受け入れられるために、処女であると主張し、階級と名前を嘘をつき、そしてアンティオベと称して、すぐに災害と不幸に対処しました。

テーベに送られる運命はちょうどこれを図ったとおりにもたらされました。つまり、神々が結婚式を防ぐために提示した手段、アンティゴーナがその名前を貸しているアンティオベが暴君の占領者に復讐する手段です。そして、彼女の到着からドラマが始まります。

[リブレットはガエターノ・ロッカフォルテによるもので、ガルツピ(1751)、スカルラッティ(1756)、デ・マイヨ(1768)も作曲しています]。

[ガエターノ・ロッカフォルテ/ヨゼフ・ミスリヴェチェク]

《アンティゴーナ》

ドランマ・ペル・ムジカ

トリノ 1774/セグド 2011

配役

アンティゴーナ : テーベ王国の相続人であるエディプスの娘、アンティオペの名で、ボエオツィアの女神テミスの神殿の使者であり、アポロの神託の通訳者

(エリザベッタ・タイバー夫人/ローザ・エルヴィラ・シエツラ)

クレオーンテ : テーベの暴君、王位の占領者、エウリストエオの父

(ジュゼッペ・アッフェリ氏/ジョヴァンニ・コレッタ)

エウリストエオ : アンティゴーナの寡夫と信じられ、アンティゴーナの夫としてエルミオーネに運命づけられた

(ヴェナンツィオ・ラウツィーニ氏/ウィリアム・ロムバルディ)

エルミオーネ : アンティゴーナの未知の娘

(フランチェスカ・ヴァッレゼ夫人/ラケル・カマリーニャ)

レアルコ : テーベの王子。エルミオーネの秘密の恋人、エウリストエオの友人、王室の近衛兵のリーダーである

(ロレンツォ・ピアッティ氏/アンニーナ・ハウク)

アルチェステ : メディアの羊飼ひ、エルミオーネの養父

(テレザ・シルヴァーニ夫人/ナタリー・コラ)

序曲	1'06"
----	-------

第1幕 第1場

王国同士の会議や一般民衆の会議が開催される王宮の荘厳な場所。片側に玉座。

王位に就いたクレオーンテ、
エウリストエオ、レアルコと王国の
偉大な者たち、そして近衛兵。

<p>Cre. Tebanì, il giorno è questo Dell'annuo Sacrificio. Asceso al Trono Giurai per man straniera Vittime ai Numi d'immolare. Or ora Dalla Beozia attendo Antiope la Ministra D'Apolline, a di Temi. Al sagro rito, che a compir ne verrà, la pompa accresca pronuba Giuno; il Regno di presta successione ch'abbisogni, già udiste. Or tu, Euristeo, a un secondo Imeneo...</p> <p>Eur. Di nozze, o Padre, Non mi parlar. Chi Antigona...</p> <p>Cre. T'accheta. Prence, non m'irritar. Per mio comando Se Antigona svenasti, il Regio editto Trasgredito da lei Tal pena meritò. Dopo tre lustri E'intempestiva ormai la fè, che vantì Per l'estinta Consorte.</p> <p>Eur. Ah così parli, Perchè Antigona mai Non vedesti, mio Re.</p> <p>Cre. Non più. Consoli</p>	<p>クレオーンテ テーベの民よ、今日は恒例の犠牲祭の日だ。 王位に就いた私は、犠牲者を外国に倣って火炙りにすることを神々に誓った。 今、アポロとテミの聖職者アンティオペがベオツィアからやってくるのを待っていると ころだ。 神聖な儀式を成就させ、その華やかさが結婚 の保護者としてのジュノの恵みを高める。 お前は継承する王国を必要とし、 そのことはすでに聞いているであろう。 さて、お前、エウリストエオ、 二回目の結婚式に...</p> <p>エウリストエオ 父上、結婚式について話さないでください。 アンティゴーナのことが...</p> <p>クレオーンテ 黙りなさい。 王子、怒ってはいけない。 私の命令によりお前が アンティゴーナの静脈を切ったことは、 彼女が勅令に反したことへの当然の罰を 受けたことなのだ。15年たっても亡くなった 妻を誇る信仰は未練を引きずっている。</p> <p>エウリストエオ ああ、貴方がそう言うのは、 アンティゴーナに会ったことがないからで す、私の王。</p> <p>クレオーンテ もはやそうではない。</p>	<p>7'35"</p> <ul style="list-style-type: none">・テーベ=テーバイ・アポロ=アポロン、 昼、太陽の神・テミ=アルテミス、 夜、月の神・ベオツィア= ボイオーティア・ジュノ=ユーノー、 女性の結婚と幸福 の神 <p>・古代ローマで5年 ごとの人口調査の 後、調査官が生贄 を捧げる浄めの儀 式を <i>lustrum</i> と 言ったことから <i>tre lustri</i> は15年 を意味する</p>
--	---	---

<p>Un novello Imeneo Il mesto cor. Del Padre tuo la scelta In Ermione rispetta. Oggi tua Sposa Sarà. Lea. (Numi, che ascolto! Ecco perdo il mio Ben.)</p>	<p>新しい結婚式が 悲しい心を慰めてくれよう。父の選択である エルミオーネを尊重せよ。今日お前の花嫁に なるのだ。 レアールコ (神々よ、よく聞きたまえ！ ここで私はいとしい人を失います。)</p>	
---	--	--

第1幕 第2場
アルチェステおよび承前

<p>Alc. Signor. Cre. Lieto così che rechi, Alceste? Eur. (Qualche nuova sventura.) Alc. Di Tebe entro le mura Antiope, che attendevi, è giunta. Cre. Or vanne: Le dirai, che ne venga nel destinato luogo, ove le nozze d'Ermione, e d'Euristeo prima d'ogo'altro si dovran celebrar. L'avviso ancora ad Ermione ne reca. Eur. No no. Disciogli per pietà questi lacci. Cre. Or giacchè vuoi alle brame del Padre renderti sì ostinato, ubbidisci il tuo Re, rispetta il Fato. No, tollerar non voglio Il tuo disprezzo altero: Saprò adoprare l'impero Di Giudice, e di Re. [O frena tanto orgoglio Del tuo ostinato core, O quanto fu l'amore, Sarà lo sdegno in me.] No ec. <i>parte con seguito</i></p>	<p>アルチェステ 王様。 クレオーンテ 連れて来たか、アルチェステ？ エウリステオ (新しい不幸が。) アルチェステ テーベの城壁内に待ちに待ったアンティオ ペがやってきました。 クレオーンテ さあ行け：彼女に伝えるのだ。 エルミオーネとエウリステオの結婚式が何 よりも優先して祝われる。その運命の場所 に来るようにと。通知は追ってエルミオーネ に行くが。 エウリステオ いや、神様、婚約を破棄してください！ クレオーンテ 今やお前は父の意向には自ら従いたいと思 うであろう。そうであるなら、王に従い、運 命を尊重しなさい。 いや、私は認めないぞ お前の高慢な軽蔑を： 私は裁判官の権力と王の権力を 利用する術を知るだろう。 [おお、過剰な自尊心を抑えよ お前の頑固な心のうちに、 おお、どれだけ父への愛があるのか、 それが私の憤慨になるのだ。] 第1節を繰り返す 従者と共に退場</p>	<p>8'50" アリア ・ダカーポ・アリアの 第2節をカットして 上演しているが様式 上は問題あり</p>
---	---	---

第1幕 第3場
エウリステオ、およびレアールコ

<p>Eur. Learco, alfin conviene il Re disingannar. D'Ermione al nodo non fia ver, ch'io discenda. Ah fu menzogna che Antigona uccidessi. Io del mio Bene la vita rispettai. Lea. Che narri! E dove or si trattiene? Vive ancor? Eur. Novella di lei non ho: ma mi predice il core, che l'aure ancor respiri. Al Padre il tutto perciò voglio scoprir. Lea. No no, l'arcano svelar non dei. Tempo s'acquisti: Ermione si lusinghi, e le nozze domandi al Re di differir. Men vado io stesso a rintracciarla. Alfin costretto dal</p>	<p>エウリステオ レアールコ、王は当てが外れるでしょう。許 嫁のエルミオーネに私が帰着することはい りません。ああ、アンティゴナを殺めたの は嘘です。私はあの人の命を尊重しました。 レアールコ 何を仰いますか！彼女は今どこに？彼女は まだ生きているのですか？ エウリステオ 彼女の消息は不明ですが、私の心は、彼女の 呼気を予告しています。だから、父にすべて を明らかにしたいと思います。 レアールコ いいえ、秘密を明かさなさい。時間を稼ぎま しょう。私たちはエルミオーネを連れ て行き、王に結婚式を延期するように頼ま なければなりません。私は行って彼を見つけ</p>	<p>14'14"</p>
--	--	---------------

tempo il tuo destin che cangi aspetto. <i>parte</i>	ます。こうして得た時間で運命が別の方向に進むことを願っています。 <i>退場</i>	
--	---	--

第1幕 第4場

エウリステオ、そしてエルミオーネがアンティオペを名乗るアンティゴーナと一緒に。
誰にも正体を気づかれない。

<p>Eur. Ah no, con me la sorte, che si plachi non spero. Ormai vicina veggio la mia ruina. Erm. Antiope, il Prence ecco appunto colà. Vieni. Al mio nodo l'affretti anche il tuo zelo. Ant. In tuo vantaggio, precedimi, sarò. (Stelle, che oltraggio!)</p> <p>Eur. Oh giorno! Ah Ermione! Erm. Del Re all'invito sollecita mi vedi. Oh me felice, se al divenir tua Sposa, oltre la mano potrò il core ottenere! Eur. Ermione. L'alma di gelo per te non ho. Ma qual la brami ancora, perdonami, non è. La rimembranza, d'Antigona l'imgo n'è la cagion; quindi se m'ami, impetra dal Re spazio alle nozze. lo pria vorrei affatto di colei scordarmi, e poi struggermi sol per te.</p> <p>Erm. Antiope, udisti qual brama, che richiesta?</p> <p>Eur. Che miro!... Oh Numi! La mia sposa è questa. <i>(osservandola)</i></p> <p>Ant. Principe, or più che giova l'Imeneo differir? Quando risolti di scordarti d'Antigona, come afferisti or or, questa dimora necessaria non è. Che tardi ancora?</p> <p>Eur. (Oh rimprovero!)</p> <p>Erm. Ah Prence, sì sì: siegui il consiglio...</p> <p>Ant. Ermione, il peso fia mio di consigliarlo. Il Re già fai, che ne attende a momenti ove Alceste additò. T'affretta. Io vengo sull'orme tue. Lasciami seco intanto sola un momento. Il tuo destin commetti a me, che non a caso vengo su questo lido; Fidati pur di me.</p> <p>Erm. Di te mi fido. Già più nel seno Timor non sento; No, più non peno, Se mi rammento, Che a te mi fido, Che spero in te.</p>	<p>エウリステオ ああ、いや、運命は落ち着くまい。今すぐ近くに私の破滅が見える。 エルミオーネ アンティオペ、王子はすぐそこにいます。来て下さい。貴方の熱意は婚約を急がせます。 アンティオペ (アンティゴーナ) 私は貴方の力になります。お行きなさい。(運命の星よ、何という怒り!)</p> <p>エウリステオ なんてことだ! ああ、エルミオーネ! エルミオーネ 私は即座に王の願いを受け入れました。貴方の妻として、貴方の手だけでなく、心をつかむことができれば、とても幸せです。 エウリステオ エルミオーネ。私は貴方に氷の心ではありませんが、それ以上に何を望みますか。許してください、そのような気分ではないのです。アンティゴーナの記憶は今でも生きています。私を愛するなら王様に結婚式の延期を求めて下さい。彼女のことをまったく忘れてからでなければ、貴方だけに捧げられません。 エルミオーネ アンティオペ、貴方はどんな希望、どんな要求を聞いていましたか? エウリステオ なんて光景だ!... ああ、神様!... これが私の花嫁なのか。 <i>(彼女を観察する)</i></p> <p>アンティオペ (アンティゴーナ) 王子様、なぜ結婚식을延期しなければならないのですか? アンティゴーナを忘れると決めたのなら、遅らせる理由はありません。なぜためらうのですか? エウリステオ (おお、叱責か!)</p> <p>エルミオーネ ああ王子様、その通り忠告に従って下さい... アンティオペ (アンティゴーナ) エルミオーネ、強くお勧めします。アルチェステが指摘したように王は気が急いでいます。急いでください。私は貴方の側につきます。それまでの間、しばらく私を放っておいてください。私がこの海岸に来たのは偶然ではありません。貴方は運命を私に委ねて、私を信じていてください。 エルミオーネ 貴方を信頼します。 もはや私の胸に 恐れは感じません。 そう、私はもう苦しみません、 貴方への信頼を、 貴方への願いを 決して忘れないからです。</p>	<p>15'13"</p> <p>アリア</p>
--	--	--------------------------

<p>Senza periglio, Per mio conforto, Vedrò la nave Ridotta in porto Col tuo consiglio, Per tua mercè. Già ec.</p> <p style="text-align: right;"><i>parte</i></p>	<p>危険は去り、 私の快適さのためにという 貴方の忠告のとおり、 貴方のお慈悲で 港に運ばれた 船が見えます。 第1節を繰り返す</p> <p style="text-align: right;"><i>退場</i></p>	
--	---	--

第1幕 第5場
アンティゴーナおよびエウリステオ

<p>Ant. Teco sola una volta eccomi alfin. Dì, mi ravvisi?</p> <p>Eur. Oh Dei! La Sposa mia tu sei: me 'l dice il core: che mi palpita in sen, che le catene riconosce, e il suo Bene, che tanto sospirò. Ma come in vece d'Antiope qui ne giungi?</p> <p>Ant. Il grado, il nome d'Antiope è mio. Non ti stupir. Sei lune e sei già son, che fui per tale accolta tra le Sagre Ministre de' Numi Apollo, e Temi: onde l'impiego quivi d'esercitar fece la sorte, che in me appunto sortisse.</p> <p>Eur. Ah l'incostante chi sa, che non ti guidi scongiata a perir? Fuggi. Non farmi tremar di nuovo.</p> <p>Ant. Di vendicarmi giurai. Odi. O la vita perder in Tebe io voglio, o guidarti con me regnante al Soglio.</p> <p>Eur. Deh per quei sagri pegni d'amor, di fede ah cangia, cangia, o Sposa, pensier. Figlio ribelle diverrei, s'io tacessi.</p> <p>Ant. Ah vedo, ingrato, che degno figlio sei d'un barbaro Tiranno. Or va. Mi scopri: palesami qual son. Del mio segreto, va, inumano, t'abusa; e un empio per salvar la Sposa accusa.</p> <p>Eur. Un fulmine di Giove m'incenerisca pria. No no: rammento quel che deggio alla Sposa, ch'è la mia tenerezza, il mio dolce pensier. Ma placa, oh Dio! Il tuo feroce core contro il Re, che al tuo Sposo è Genitore.</p> <p>Pensa, oh Dio! Bell'Idol mio, Il tuo Sposo di chi è figlio: Ah ti placa, e dal tuo ciglio Spiri calma un dolce amor.</p> <p>Il piacer del tuo ritorno, Che nell'alma, e in sen già sento, Non cangiarmi in fier tormento, Nè mi serva di terror.</p> <p style="text-align: center;">Pensa ec.</p> <p style="text-align: right;"><i>parte</i></p>	<p>アンティゴーナ やっと貴方とだけになったわ。言って、貴方は私に分かりますか？</p> <p>エウリステオ なんてこった！ 妻だ：私の心は鼓動し、彼女との絆を認識し、いとしい人がため息をついていることを告げている。だが、アンティオペの代わりにどうやってここに？</p> <p>アンティゴーナ じつはアンティオペの名前は私のものです。驚かないでください。もう6か月と6日間、私はアポロ神とテミ神の聖職者の間で歓迎されました。したがって、そこでの活動が多くの実績となり、私に役が回って来たのです。</p> <p>エウリステオ ああ、誰も貴方の行動を心配して、危険を避けるように忠告しなかったのだろうか？ 逃げてくれ。もう二度と震えさせないで。</p> <p>アンティゴーナ 私は復讐を誓った。聞いてください。私はテーベで命を落とすか、貴方と共に王座に君臨するかのどちらかです。</p> <p>エウリステオ おお、愛と信仰の聖なる誓いのために、ああ、考えを変えてくれ、おお、妻よ。黙っていたら反抗的な息子になってしまう。</p> <p>アンティゴーナ ああ、恩知らずですね、貴方は野蛮な暴君の何と立派な息子でしょう。もう行って。私のことはそのうち分かるでしょう。私の秘密を知れば、彼は貴方を無慈悲に虐待し、花嫁を救った邪悪な男だと非難するでしょう。</p> <p>エウリステオ ジオヴェからの稲妻が私を焼こうとする。いや、私は優しさ、穏やかな思想を妻に負っている。だが落ち着いて。おお、神よ！ 夫の親である王に対して貴方の凶暴な心をなだめてくれ。</p> <p>考えておくれ、おお神様！ 私のいとしいひとよ、 貴方の夫はその子であり： ああその子は貴方を落ち着かせ 貴方の胸から甘い愛を導く。 貴方の帰還の喜びを、 私は心の底から感じている。 激しい苦痛に変えないでおくれ、 なんらの恐怖も必要ないだろう。 第1節を繰り返す</p> <p style="text-align: right;"><i>退場</i></p>	<p>21'45"</p> <p>・ジオヴェ＝ユーピテル、天空の神</p> <p>アリア</p>
--	---	--

第1幕 第6場
アンティゴーナ独り。

<p>Ant. Oh Dei! Di sdegno il core quasi mi disarmò. Virtù sì rara, numi, perchè non deste al Padre ancora? Ah! ma il Tiranno mora. In lui vendetta Facciasi della strage, e del sangue di Cadmo, ond'io discendo. Di sagrificio orrendo vittima cada ancor la mia rivale; Che un Oracol fatale al Re il consigli per serbarsi il Regno, io credere farò. Per suo comando, se all'Ara destinarsi tal Vittima vedranno, s'accresceran nemici al mio Tiranno. lo poi senza timore saprò passargli il core: e voi, de' miei germani Ombre dilette, liete vedrete le comun vendette.</p> <p>Ben potete e scettro, e soglio Involarmi, avversi Dei, Ma non far che i torti miei Non aspiri a vendicar.</p> <p>[Anche oppressa a questo segno Di Regina ho in cor l'orgoglio, E la morte d'un indegno L'ire mie può sol placar.]</p> <p>Ben ec.</p> <p style="text-align: right;"><i>parte</i></p>	<p>アンティゴーナ 何ということでしょう！ 憤慨で私の心はほとんども無防備になりました。神々よ、美德は稀ということで父親にはまだ与えていなかったのですね？ ああ！ しかし、暴君は死にます。復讐は虐殺により、我らカドモスの末裔の手で行なわれます。私のライバルを恐ろしい犠牲者として再び倒させてください。王にとって致命的な神託が彼に王国を守るように忠告するでしょう。命令により、生け贄台に運命づけられた犠牲者を彼らが見るならば、私の暴君の敵は増加するでしょう。そうすれば、恐れることなく、私は気を許せません。そして、父の影の愛する貴方は、幸運にも共通の復讐を見ることができます。</p> <p>貴方は私に王笏と王位を 呼び戻せます、邪悪な神々よ、 でも妨げないでください、 私が復讐を熱望することを。</p> <p>[この女王のしるしの重圧にも耐え 私は心に誇りを持っています。 価値のない人の死だけでは 私の怒りを和らげるだけです。]</p> <p>第1節を繰り返す</p> <p style="text-align: right;"><i>退場</i></p>	<p>29'21" アコンパニヤート</p> <p>・カドモス:テーベの創造者。アンティゴーナの祖先</p> <p>アリア</p>
---	---	---

第1幕 第7場

結婚式のために装飾された宮殿の居住空間。
クレオーンテ、エウリステオ、エルミオーネ、レアールコ、アルチェステ、
花輪とギンバイカを持ったジュノの使者、テーベの貴人、王の近衛兵、そしてアンティゴーナ。

<p>Cre. Antiope, in tempo giungi attesa, e sospirata. Per l'Imeneo già vedi tutto esser pronto. E' quella la tazza nuzial. Prendila. Il rito dalla tua man compito rimanga al fine: e il sagro umor gli Sposi s'accostino a libar. La sorte poi, che presagisce Apollo ai Reali, Imenei, spiegar ti piaccia, e ci sian fausti i Dei.</p> <p>Ant. Signor, prima d'ogn'altro e' d' uopo, che m'ascolti, che tradirti non voglio. In Tebe io venni non qual donna volgar, ma degli Dei interprete, e Ministra. Or odi: Al Figlio la Sposa, che scegliesti, ad altro, ad altro serba il Destino. Ah l'Imeneo se siegue, pensaci, è a te fatal: fatale al Figlio, a Tebe, al Regno tutto: in me ti parla Apollo: io non mentisco. O l'ira scegli, o de' Numi il favore.</p> <p>Erm. (Ah che ascoltai!)</p> <p>Alc. (Stelle, che mai farà!)</p> <p>Lea. (La speme in petto già mi ritorna.)</p> <p>Cre. (Io mi confondo, e temo.)</p>	<p>クレオーンテ アンティオペ、時間通りの到着だな。待ちわびたぞ。すでに結婚式の準備はすべて完了しておる。そちらが固めの杯だ。確かめよ。其方(そち)による儀式が最後にくるようしよう。そして、新郎新婦は近づいて聖なる飲み物を飲む。それでは、アポロが王族に予言する運命、結婚式について説明せよ。神々が我らに恵みを与えてくださいますように。</p> <p>アンティオペ(アンティゴーナ) 王様、まず、私に耳を傾ける必要があります、私は貴方を裏切りたくないのです。テーベに私は賤しい女性ではなく、神々の通訳、使者としてやって来ました。さあ、お聞き下さい。貴方が選んだ息子の花嫁とは別の人の運命を守って下さい。ああ、結婚式が行われると、いいですか、彼女は貴方に、息子に、テーベに、王国全体に致命的となります:アポロは貴方に告げます:嘘ではありません。神々の怒りか、好意かどちらを選択しますか。</p> <p>エルミオーレ (ああ、私は何を聞いたのでしょうか!)</p> <p>アルチェステ (運命の神、何が起こるのでしょうか!)</p> <p>レアールコ (希望はもう胸に戻ってきている。)</p> <p>クレオーンテ (私は混乱し、恐れる。)</p>	<p>36'34"</p>
---	--	---------------

<p>Eur. (Per l'evento dubbioso io gelo, e tremo.) Cre. Antiope, almeno ah meglio i sensi arcani del Ciel spiega, e d Apollo. Ant. A parte, a parte altrove, o Re, tutto saprai. Non deggio quivi parlar per ora. Cre. Ermione, Prence, Amici, si suspendan le nozze. Impaziente t'attendo, Antiope, al mio soggiorno, il core, l' alma, i pensier confusi in guisa tal già sento, che non so che temer, quando pavento.</p> <p style="text-align: right;"><i>parte con seguito</i></p>	<p>エウリステオ (疑わしさに、凍りつき、震える。) クレオーンテ アンティオペ、せめて天の神々とアポロの難解な意味をより良く説明せよ。 アンティオペ (アンティゴーナ) 王様、他の場所で貴方はすべてを知ってください。今ここでは話せません。 クレオーンテ エルミオーネ、王子、友よ、結婚式は中断する。アンティオペ、私は部屋で其方を待っている。私の心、魂、考えはすでに混乱していて、恐れるときに何を恐れるべきかわからないのだ。</p> <p style="text-align: right;"><i>従者と共に退場</i></p>	
--	--	--

第1幕 第8場

アンティゴーナ、エウリステオ、エルミオーネ、レアルコおよびアルチェステ。

<p>Erm. Antiope, ah di, a qual uso me riserba il destin? Ant. Dal Re saperlo sol potrai, non da me.</p>	<p>エルミオーレ アンティオペ、ああ、運命は私のためにどのような前途を約束していますか? アンティオペ (アンティゴーナ) 貴方は私からではなく、王からのみ知ることができます。</p>	<p style="text-align: right;">38'34"</p>
---	---	--

第1幕 第9場

アンティゴーナ、エウリステオ、アルチェステ。

<p>Alc. O grande, o veritiera interprete de' Numi, i detti tuoi, ch'io non comprendo, esser cagion non ponno di speme in me, nè di timor: luogh'anni vissi, e vivendo appresi delle umane vicende l' instabil giro, e ch' alla sorte avversa la seconda succede: e il cuor mi dice, che cessato il furor della tempesta, Ermione al porto giungerà felice. Se intorno alla prora Il vento s'aggira, Più celere al lido La spinge talora Fra l'ire del mar: E allora il Nocchiero Più lieto respira Mirando il sentiero, Che il fece tremar. Se &c.</p> <p style="text-align: right;"><i>parte</i></p>	<p>アルチェステ 神々の偉大な、真実の通訳者よ、私が理解していない貴方の言葉は、私にとって希望の理由にも、恐れの原因にもなりません。私はそこに何年も住んでいて、人間の変遷が不安定な方向に進んでいること、そして第二の運命が起こることを知りました。そして私の心は、嵐の激怒が止むと、エルミオーネは港に幸せに到着するだろうと私に告げます。 風が船首の周りを 吹きまくれば、 時には船を海岸に より速く押してくれる、 たとえ荒れ狂う海の中でも。 そして、舵手は ここぞとばかりに一息ついて 海路を目指す。 それまでの怯えは嘘のように。 第1節を繰り返す</p> <p style="text-align: right;"><i>退場</i></p>	<p style="text-align: right;">38'40"</p> <p style="text-align: right;">アリア</p>
---	---	--

第1幕 第10場

エウリステオ、およびアンティゴーナ。

<p>Ant. In volto perchè cotanto, o Sposo, confuso ancor ti miro? E' tempo alfine di respirar. Già dal rigor del Padre io m'accingo a sottrarti. Eur. Ah con quei detti mi fai tremar! Chi sa qual volgi in mente strana impresa, e funesta? Ant. Voglio teco regnar: l'impresa è questa.</p>	<p>アンティゴーナ 夫よ、なぜまだ当惑した貴方を見なければいけないの？ いよいよ息抜きの時間です。すでに父の厳しさから、貴方を連れ去る準備をしています。 エウリステオ ああ、貴方は私を震えさせます！貴方の奇妙で致命的な企てを誰が理解できるだろう？ アンティゴーナ 貴方と一緒に治めたい。これは大仕事です。</p>	<p style="text-align: right;">43'00"</p>
--	---	--

<p>Eur. Dunque del Genitor...</p> <p>Ant. In lui non devi ravvisar che un Tiranno degno d'orror.</p> <p>Eur. Ma però deggio a lui rispetto, e fedeltà.</p> <p>Ant. L'esser di figlio scordarti or devi, e rammentar soltanto quel, che giurasti a me, costante amore.</p> <p>Eur. (In qual conflitto or ti ritrovi, o core!)</p> <p>Deh per pietà, se m'ami, cangia consiglio.</p> <p>Ant. Invano tu mel chiedi, Euristeo.</p> <p>Eur. Rendermi dunque vuoi parricida?</p> <p>Ant. Tanto a te non domandai. Sol vo' che a quanto già destinai tu non t'opponga, e taccia.</p> <p>Eur. Ah quest' è troppo!</p> <p>Ant. E puoi negarlo? Or vanne, corri al Padre, e se hai cor, scopri la Sposa.</p> <p>Eur. (Misero me!)</p> <p>Ant. Ma non sperar quell'empio per questo di salvar. Morrò tradita dal Consorte infedel, ma invendicata non resterò.</p> <p>Eur. Senti...</p> <p>Ant. Che vuoi ch' io senta? Quando a Creonte mi posponi, ingrato, più non ho che sentir.</p> <p>Eur. (Son disperato!)</p> <p>Se 'l tuo fedel son io, se l'idol mio tu sei, tanto spietata, oh Dio! Non ti mostrar con me.</p> <p>Ant. No, tu non sei più mio, no, non son più tuo bene: Soccorso alle mie pene io spero invan da te.</p> <p>Eur. Crudele!</p> <p>Ant. Ingrato!</p> <p>A2 Oh Dei! Che barbara mercede Si rende a tanta fede, A si costante amor! Più fausti i vostri rai Su noi girate, o Stelle: Il vostro sdegno assai Provato abbiam finor.</p> <p style="text-align: right;"><i>partono</i></p> <p style="text-align: center;"><i>Fine dell' Atto primo.</i></p>	<p>エウリステオ だから父親の…</p> <p>アンティゴーナ 貴方は彼の中に恐怖に値する暴君だけを見なければなりません。</p> <p>エウリステオ しかし、敬意と忠実さは与えなければ。</p> <p>アンティゴーナ 貴方は今、息子としての存在を忘れなければなりません。そして貴方が私に誓った絶え間ない愛を覚えていなければなりません。</p> <p>エウリステオ (お前は今、何に葛藤しているのだ!)</p> <p>私を愛するなら、どうか忠告を変えてくれ。</p> <p>アンティゴーナ 私に求めても無駄です、エウリステオ。</p> <p>エウリステオ 私に尊殺させたいのですか?</p> <p>アンティゴーナ 貴方に要求はしていません。私がすでに運命づけたものに反対せず、沈黙していることだけを望みます。</p> <p>エウリステオ ああ、これはひどすぎる!</p> <p>アンティゴーナ 否定しますか? さあ、父親に向かって走って行って、心あるなら妻を発見して下さい。</p> <p>エウリステオ (惨めな私!)</p> <p>アンティゴーナ しかし、暴君を救えるなどと期待してはいけません。私は不実の夫の裏切りによって死んでも、救われないままでは済みません。</p> <p>エウリステオ 聞いてくれ…</p> <p>アンティゴーナ 何をですか? 貴方が不誠実に私をクレオンの後に置くなら、私は聞くだけです。</p> <p>エウリステオ (私は必死です!)</p> <p>私が貴方の忠実な人なら、 貴方が私の愛する人なら、 とても冷酷です、ああ、神様! 私を憐れんで下さい。</p> <p>アンティゴーナ いえ、貴方はもう私のものではなく、私は貴方のいとしい人ではありません。私の痛みを助けてくださいと貴方にむなしく願っています。</p> <p>エウリステオ 残酷!</p> <p>アンティゴーナ 不誠実!</p> <p>二人 おお、神々よ! こんなにも多くの信仰、 こんなにも絶え間ない愛に、 何と野蛮な報酬が支払われるのか! もっと幸先の良い貴方の光線が 私たちを照らす、おお、運命の神々よ: 憤慨してくださっていることを 私たちは感じています。 退場</p> <p style="text-align: center;">第1幕の終わり。</p>	<p>アコンパニヤート</p> <p>二重唱</p>
---	--	----------------------------

第2幕 第1場

遠くに王宮の景色を眺めることができる。
エウリステオおよびアルチェステ。

Alc. Oh barbaro destino! Ermione dunque d' orrendo sacrificio dee vittima cader! Lea. Col Re si espresse così Antiope. Alc. Asserisce però, che in questa guisa sarà di pace al Regno, e il nodo stringerà della man, che sarà la difesa del Trono, ed il sostegno.	アルチェステ おお、野蛮な運命！ エルミオーネは恐ろしい犠牲の女神により倒れるでしょう！ レアールコ アンティオペは王にそう表明しました。 アルチェステ しかし、彼女は、これで王国に平和がもたらされ、婚約が王位の防御と支援の絆となるだろうと主張しています。	51'21"
--	---	--------

第2幕 第2場

すぐにエルミオーネ、そして承前。

Erm. Soccorso Principe, Alceste; aita Il Re.... Alc. Sappiamo già i tuoi casi, i perigli. Il Re ti vuole vittima all' Are atroci. Erm. Ah sì. Eur. Respira, tanto non t'affannar. Erm. Deh qual riparo alla sventura mia? Alc. Vieni. Eur. Sieguiami, io stesso ti sarò nella fuga e duce, e scorta. Alc. Ahimè! Prence, ecco il Re. Erm. Numi, son morta.	エルミオーネ 助けて… 王子、アルチェステ… 助けて… 王様… アルチェステ 私たちは貴方の事情、危機を知っています。王は凶悪な生け贄台を望んでいます。 エルミオーネ ああ、そうです。 エウリステオ 深呼吸して、心配しないでください。 エルミオーネ ああ、私の不幸にはどんな避難所が？ アルチェステ 行きましょう。 エウリステオ 付いてきてください、私自身逃走し、先導します、そして護衛します。 アルチェステ ああ！ 王子様、王様がいらっしゃいます。 エルミオーネ 神様、私は死にます。	51'47"
--	--	--------

第2幕 第3場

クレオンテ、そして近衛兵と一緒のレアールコ、そして承前。

Cre. Olà? Si cinga intorno ogni strada, o Custodi. Ermione, ascolta. Già in tuo vantaggio il sai, quanto feci sinor, che ti volevo colle nozze del Figlio sino al Trono innalzar. Ma vi si oppone l' Oracolo de' Numi, la favella del ciel, che ne prescrive d'immolarti sull' Are vittima in queste arene; Or va: di sagre bende cingiti intorno, che morir conviene. Erm. Deh per pietà Cre. Non giova. Olà, Custodi, nel Tempio la guidate. Erm. Alceste, Amici, oh Dio! m'abbandonate! Lea. (Mi si divide il cor.)	クレオンテ さあ？ 近衛兵たちよ、あらゆる通りの周囲を囲めよ。エルミオーネよ、聞け。 息子の王位への結婚で其方を望んで以来私が多くのことしてきたのは、すでに知ってのとおり。しかし、この建物の生け贄台で自分自身を犠牲にするようにと天の神々の言葉である神託が反対を表明している。さあ行け：死ぬのに都合よく祭りの帯が飾られている。 エルミオーレ 後生ですから、お慈悲を… クレオンテ 助けることはできぬ。近衛兵たち、彼女を神殿に連れて行け。 エルミオーレ アルチェステ、友、神様！ 見捨てられました！ レアールコ (私の心は割かれています。)	52'20"
---	--	--------

<p>Eur. Che far poss'io? Alc. (Ah non posso parlar.) Erm. Ah che per me non spero. Che si voglia placar. Andiamo, andiamo. Traggasi pur quest' infelice a morte. L'ingiusta, iniqua sorte venga a sfogarsi in me; giacchè condanna inumana, tiranna chi non è delinquente, e lo lascia morir, benchè innocente.</p> <p>Vado Ma dove? Oh Dio! ... Dunque morir dovrò: Ah più vigor ... non ho Non ho ... più moto al piè Che fiera sorte barbara! Per me non v'è pietà. Misera! il fallo mio Anch'io Sapessi almeno, Sapessi, perchè merito Sì fiera crudeltà. Vado ec, <i>parte in mezzo alle Guardie</i></p>	<p>エウリステオ 私に何ができるだろうか? アルチェステ (ああ、話すことができません。) エルミオーレ ああ、助けは望みません。自分をそうなだめるだけです。さあ、行きましょう。この不幸な者を死に至らしめてください。不当で邪悪な運命は、私の中に、ああ、生じてきます。彼は無慈悲に非難し、犯罪者ではない人を凶暴にし、無実であるにもかかわらず死なせています。 私は行く…でもどこへ?…ああ神様!… だって私は死ななければなりません: ああ、もっと元気を…持てません… 持てません…もっと動かせる足を… なんて高慢で野蛮な運命でしょう。 私にとって慈悲はありません。 惨めです!私も自分の過失を知っていればよかった、 少なくとも、私がそのような激しい残酷さに値することを 知っていればよかった。 第1節を繰り返す <i>彼女は近衛兵の真中で退場</i></p>	<p>アリア</p> <p>2011 上演はここで第1幕の終わり</p>
---	--	--------------------------------------

第2幕 第8場

レアールコ独り

<p>Lea. Quelle luci del mio Bene, Che sfavillano d'amore, Placarebbero il rigore Dell'istessa crudeltà. Han tal forza, che conviene Adorarle a chi le mira. Alle fiere avvezze all'ira Destariano ancor pietà. Quelle ec. <i>parte</i></p>	<p>レアールコ 私のいとしい人の瞳は 愛を込めて輝きます 残酷な厳しさを 和らげるでしょう。 瞳はそのような強さを持っているので、 崇拝することには価値があります。 怒りに慣れている高慢な人々に対し、 その瞳はさらに同情を呼び起こします。 第2節を繰り返す <i>退場</i></p>	<p>0'00"</p> <p>2011 上演はここから第2幕の始まり</p>
--	---	---

第2幕 第6場

アンティゴーナ、レアールコおよびアルチェステ

<p>Ant. Learco, Alceste, pallidi, affitti in volto io vi veggio smarrir. Se tanto ad ambi spiace d'Ermione il Sacrificio, or ora nel funesto suo caso, ditemi, che farete? Lea. In sua difesa forse molto farò. Alc. Nel Tempio forse vedrai, s'io resterò nel suo periglio placido spettator. Ant. Degno è il consiglio d'un generoso amante, (a Learco) d'un amico fedel. Ma a miglior uopo (ad Alc.) serbate il vostro zelo, e miglior sorte. Per Ermione sperate. Or l'apparenza giustapiente v'affanna; ma quante volte l'apparenza inganna!</p>	<p>アンティオペ (アンティゴーナ) レアールコ、アルチェステ。青ざめ、顔が引きつっていますよ。エルミオーネの生け贄のことを気の毒に思うなら、今、彼女の致命的な出来事に、お二人はどうなさいますか? レアールコ 私は多分彼女の弁護をするでしょう。 アルチェステ 私が穏やかに危険の見物にとどまれるかどうか、貴方は寺院で知るでしょう。 アンティオペ (アンティゴーナ) 価値があるのは、寛大な恋人 (レアールコへ)、忠実な友人の忠告です。しかし、より良い目的のために、(アルチェステへ) 貴方の熱意とより良い運命を保ちなさい。エルミオーネに希望を持ちなさい。うわべが心配というののもっともですが、うわべは当てになりません!</p>	<p>3'20"</p>
---	--	--------------

<p>Rende il mar, quando più freme, Ogni immagine funesta, Ma cessata la tempesta Suole in calma ritornar. [Nell' orribile procella, Che nel sen vi desta il Fato, Il suo sdegno alfin placato Potrà farvi respirar.] Rende ec.</p> <p style="text-align: right;"><i>parte</i></p>	<p>現状は海を震わせ、 すべての致命的なイメージを作ります。 しかし、嵐が止むと、 通常は穏やかに戻ります。 [恐ろしい嵐の中で、 貴方の胸中で運命が目覚めるとき、 彼の憤慨はついに和らぎ、 貴方を安心させます。] 第1節を繰り返す</p> <p style="text-align: right;"><i>退場</i></p>	<p>アリア</p>
---	---	------------

第2幕 第7場

レアールコおよびアルチェステ

<p>Alc. Che ne dici, Learco, di quei detti sì oscuri? Lea. Al par confuso di te son io: ma quel parlare istesso, se pur ben vi rifletto, mi fa sperar. Sì Alceste, degli innocenti alfine hanno i Numi pietà. Alc. Ma pur talora, restano oppressi ancora gl' innocenti, tu 'l sai: perciò dal Tempio voglio Ermione rapir. Lea. No. T'esperrefti senza frutto ai perigli. Il mio consiglio e', che spera con me. Alc. Che vuoi, che spera? Da funesto timore sento troppo agitarmi in petto il core. Fra tante vicende Dubbioso pavento, E tutto già sento Del barbaro Fato L'iniquo rigor. In van la speranza Da lungi la calma Promette a quest' alma, Che troppo s'avanza Mio giusto timor. Fra tante ec.</p> <p style="text-align: right;"><i>parte</i></p>	<p>アルチェステ レアールコ、あいまいな言い回しでしたね? レアールコ 私も貴方と同様に混乱しています。でも、よく 考えてみると、その話そのものが私に希望 を与えてくれます。ええ、アルチェステ、神々 は罪のない人々に慈悲を与えるでしょう。 アルチェステ しかし、時には罪のない人々が依然として抑 圧されていることもあります。私はエルミオ ーネを寺院から誘拐したいと思います。 レアールコ いいえ。貴方は自分自身を危険にさらしま す。私の忠告は、私と一緒に願うことです。 アルチェステ 貴方は何を要求し、何を願いますか? 致命 的な恐怖から、胸が激しく動揺します。 非常に多くの疑問の中で 私は恐れています、 そして私はすでに感じています 野蛮な運命の神の 不法な厳しさを。 空しくも希望は 遠くの静けさから来ることを この魂に約束してくれません、 私の恐れだけが あまりにも亢進しているゆえ。 第1節を繰り返す</p> <p style="text-align: right;"><i>退場</i></p>	<p>10'10"</p> <p style="text-align: right;">アリア</p>
---	--	---

第2幕 第4場

クレオーンテ、エウリステオ、レアールコ、アルチェステ、そしてアンティゴーナ

<p>Cre. lo sento, che in petto Confuso si desta Un tenero affetto D'ignota pietà. Ma l'alma più saggia, Che scorge il periglio, De' Numi al consiglio Resister non sa. lo ec.</p> <p style="text-align: right;"><i>parte</i></p>	<p>クレオーンテ 混乱した胸の中で 目覚めるのは 未知の同情の 優しい愛情。 しかし、最も賢い魂は、 危険に直面しつつも、 神の意志に 抵抗することはない。 第2節を繰り返す</p> <p style="text-align: right;"><i>退場</i></p>	<p>13'23"</p> <p style="text-align: right;">アリア</p>
---	--	---

第2幕 第9場

アポロの大神殿が犠牲のために準備されている。神の像、そして生け贄台。クレオーンテとエウリステオが話している一方で、アンティゴーナとアルチェステが鎖でつながれ、その間に解除される。近衛兵、そして民衆。

<p>Eur. Deh lascia, escludi, o Padre, sacrificio sì fiero. Avverti ... Cre. Il dissi, che ascoltarti non voglio. Ah impara, impara da Alceste, che or volea la Vittima rapire, a non opporti de' Numi ai voti. Spettator fra ceppi per suo castigo or gli convien mirarla su quell' Ara spirar: dunque a tuo danno non m'irritar. Eur. (Che pena e tremare, e tacere!)</p> <p>Alc. (Donna crudele, <i>(piano tra di loro)</i> vuoi deludermi ancor?)</p> <p>Ant. (Se il fine attendi, favella cangierai.)</p> <p>Alc. (Barbara, e fiera sempre t'appellerò!)</p> <p>Ant. (Ma taci, e spera.)</p> <p>Gre. Antiope. Il rogo, i doni, l'Ara pel Sacrificio preparata già vedi. Attende intanto con sagri ammantanti intorno i tuoi cenni la Vittima.</p> <p>Ant. Agli Altari dunque s'appressi, nè a compire il rito più s'indugi un momento.</p>	<p>エウリステオ お願いします。父よ、誇らしい犠牲を止めさせに行ってください。お聞き入れ下さい…</p> <p>クレオーンテ お前の言うことは聞きたくないと言ったはずだ。ああ、学べ。犠牲者を解放しようとしたアルチェステの運命から学べ。彼はエルミオーネが鎖に繋がれ生け贄台の上で死ぬのを見なければならぬのだ。だから彼を止めようとしてはいけない。</p> <p>エウリステオ (震えて沈黙するのはなんと辛いこと!)</p> <p>アルチェステ (残酷な女だ、<i>(彼らの間をゆっくりと)</i> また私を落胆させるのか?)</p> <p>アンティオペ (アンティゴーナ) (終わりを待って、話さなくては。)</p> <p>アルチェステ (粗野な人だが、貴方の訴えは公平だ!)</p> <p>アンティオペ (アンティゴーナ) (しかし、黙って、そして希望して下さい。)</p> <p>クレオーンテ アンティオペ。火葬が準備され、供物、生け贄台はすでに見えている。その間、犠牲者は神聖なマントを着て其方の指示を待っている。</p> <p>アンティオペ (アンティゴーナ) それで彼女は祭壇に近づき、儀式を行うために少しも遅らせることはありませんでした。</p>	<p>17'28"</p>
--	--	---------------

第2幕 第10場

レアールコ、承前、そして舞台の後ろから花とお祭りの飾り帯で飾られた白いドレスを着たエルミオーネ、そして寺院の司祭が先行し、近衛兵が続く。

<p>Erm. Numi del ciel, pietosi Numi, e giusti, deh se così severi oggi siete con me, se la mia vita tanto v'è in odio, almeno or che da questo seno separarsi dovrà l'alma smarrita, placatevi una volta; ah deponete lo sdegno vostro, che non so soffrire! Padre, Tebani, Amici, io vo a morire.</p> <p>Lea. (Mi scoppia il core.)</p> <p>Ant. (Ah pon morrai.)</p> <p>Alc. (Che affanno!)</p> <p>Cre. Antiope, il sagra acciaio ormai scegli.</p> <p>Ant. Son pronta; ma che t'accosti al fianco della Vittima è d'uopo.</p> <p>Cre. All' Ara anch'io ecco che i Numi ad invocar m'invio. <i>(Va sulla sinistra dell'Ara vicino ad Ermione.)</i></p>	<p>エルミオーレ 天の神々、憐れみ深い神々、そして正義の神、貴方が今日私にとても厳しいなら、私の人生がとても憎しみに満ちているなら、少なくとも今は、失われた魂はこの胸から離れなければなりません; ああ、貴方は憤慨しますが、私には苦しむ方法が分かりません! 父、テーベ、お友達、私は死にます。</p> <p>レアールコ (私の心は張り裂けます。)</p> <p>アンティオペ (アンティゴーナ) (ああ、貴方は死ぬでしょう。)</p> <p>アルチェステ (なんとという悲痛!)</p> <p>クレオーンテ アンティオペ、さあ、神聖な剣を選択せよ。</p> <p>アンティオペ (アンティゴーナ) 準備ができました; しかし、貴方は犠牲者の側に近づく必要があります。</p> <p>クレオーンテ 私も生け贄台の傍らで私を呼び起こす神を見よう。 <i>(エルミオーネの近くの生け贄台の左側に行く。)</i></p>	<p>18'30" 行進曲 アコンパニヤート</p>
---	--	--------------------------------

<p>Tremar non mi farà. Tremar farebbe un vile, Un empio qual tu sei, In odio al Mondo, ai Dei, E tutto crudeltà. Empio ec. <i>parte con Learco custodita da Guardie</i></p>	<p>私には現れないでしょう。 震えるならば臆病者に、 貴方のような陰険な人になり、 世界、神々を憎むでしょう。 それはすべて悲惨な行為です。 第1節を繰り返す 近衛兵に守られたレアールコと共に退場</p>	
---	---	--

第2幕 第13場
クレオーンテ独り。

<p>Cre. Dal tuo letargo ancora non ti desti, Creonte! In Tebe vedi, quando estinta la credi, ebbra di sdegno, forsennata, e feroce Antigona tornar. Perfida, ardità, (M'empie ancor di spavento) e grado, e nome, e Oracoli mentisce. I Tempi tenta, con insulto de'numi, l'are macchiar d'umano sangue; e rea di sì atroci delitti resta impune sinora! Nè dal letargo tuo ti desti ancora? Ah no. Miei sdegni, all'opra. lo chiedo a voi furore, e crudeltà. Cada, perisca col più barbaro scempio. Orrida sia a tal segno la strage, che appaia all' altrui ciglio di quel perfido sangue il suol vermiglio. Sarò qual è il torrente, Che le campagne inonda, Gonfio d' umore argente L'interesse selve affonda, Tutto distrugge, abbatte, Va furibondo al mar. [Sopra quel capo indegno Scenda così il mio sdegno; E in quella strage impari Ogn' altro a paventar.] <i>Fine dell'Atto secondo.</i></p>	<p>クレオーンテ お前は無気力から、まだ目覚めないのか、ク レオーンテ！ テーベに、絶命したはずだが、 怒りに酔い痴れ、熱狂し、そして凶暴なアン ティゴーナが戻ってきた。背信的で大胆だ (それは、まだ私を恐怖で満たす)。それに肩 書、名前、神託は嘘であった。神々への侮辱 で、神殿は人間の血で染まろうとしている。 そして、そのような凶悪な犯罪でも、罰せら れないままだ！ それでもお前はまだ無気力 から目覚めないのか？ ああ、自分への軽蔑 はやめよう。私は怒りと残酷さの具現を求め る。最も野蛮な破壊で彼女が倒れ滅びればい い。そのような兆候で虐殺を恐ろしく見せ、 朱色の土を不潔な血の端に現れさせてくれ。 私は奔流だ。 平原を氾濫させ、 冷たい水で溢れさせ、 森全体を沈める。 すべてを破壊し、崩壊し、 海へと怒涛の急流になる。 [彼女の価値のない頭の上に、 私の怒りが下される。 そして、この虐殺で皆が恐れることを 彼女は学ばなくてはならない。] 第2幕の終わり。</p>	<p>26'36" アコンパニヤート アリア</p>
---	---	---

第3幕 第3場
レアールコ独り。

<p>Lea. Non più. Tolgasi affatto all'Idol mio la speme, ch' ha del Trono, che s' oppone al mio amor. Per opra mia ad Euristeo la Sposa Antigona si serbi. Al Soglio avito ella ascenda Regina; ed il Tiranno cagion de' mali altrui resti oppresso una volta. Io dell'impresa oggi il duce sarò. Pendon già l'armi tutte da' cenni miei. Tebe, le Squadre cauto solleverò; nè della sorte perigliosa ho timore, quando in petto così m'infiamma Amore. Fra cento schiere e cento Di mille spade il lampo Non temerei sul campo, Non mi faria tremar. D'ardir così mi sento Ripieno, e di valore, Che sfiderebbe il core Sin le tempeste in mar. Fra ec. <i>parte</i></p>	<p>レアールコ もはや我慢できない。私の愛する人から、私 の愛に反する王妃への希望を奪わなくては ならない。エウリストオへの私の働きを通し て、妻のアンティゴーナは確保された。彼女 は先祖代々の王位の女王に登る。そして暴君 は、諸悪のために、一旦軟禁する。私は仲間 のリーダーになるのだ。すべての武器はすで に私の合図のもとにある。テーベよ、分隊を 慎重に育てよう。愛がこのような私を燃え上 がらせるとき、私が危険な運命を恐れること はない。 数多の隊列の中で交わされる 稲妻の如き千本の剣 私が戦場で恐れることはない、 私を震えさせることもない。 私はこのように大胆さに満ち 勇敢さに満ちているのを感じる。 心は挑戦するだろう 海の嵐の中であっても。 第1節を繰り返す 退場</p>	<p>34'11" アリア</p>
--	---	----------------------------

第3幕 第4場

刑務所として機能する王宮に隣接する門のある古代の建物の場所。
アンティゴーナ独り。

<p>Ant. Fiere immagini di morte, Non sperate a me d'intorno D'Davvilirmi in seno il cor; Che a dispetto della sorte In quest' orrido soggiorno Non mi fate più terror. Sì, disperata ormai sgomentarmi non so, più non pavento. La pena, il mio tormento e', che l'empio Tirando ah resta in vita, allorchè invendicata morir mi converrà. Germani miei, non giova intorno a me, che vi lagniate: Cessate, ormai cessate di sperar, ch'io vi plachi. Ombre infelici, vendicarvi non posso. Oh Dei! vien meno, (<i>siede ad un sasso</i>) frangesi a questo scoglio la mia costanza alfin. Ridotto a questo duro funesto passo il mio stato faria pietade a un sasso. Ma che veggio! Il Tiranno s'appressa, e seco il perfido suo Figlio. (<i>S'alza, e va incontra ad Euristeo.</i>)</p>	<p>アンティゴーナ 死の熾烈なイメージよ、 私の周りが私の心を落胆させることを 望まないでください。 この恐ろしい部屋での 運命にもかかわらず、 もはや私を恐怖に陥れはしません。 はい、今は必死です。落胆しません。もう恐 れることはありません。私の痛み、苦痛は、 邪悪な突っ張り、ああ、救われずに死にそう なときに生き続けることです。私の同胞、貴 方が不平を言うことは私たちの助けになり ません：今、貴方は期待するのをやめること です。不幸な幻影よ、私は貴方に復讐はでき ません。神々よ！ 私の一徹では (<i>岩の上に座 る</i>) ついにこの岩を壊すことができませんで した。この困難な致命的な過程に還元され て、私の状態は岩への信心深さになるでし ょう。しかし、なんとという光景でしょう。暴君 が彼の背信的な息子と一緒に近づいてき ます。 (<i>彼女は起き、エウリストオに会いに行く。)</i></p>	<p>38'12" アリア</p>
--	---	-----------------------

第3幕 第5場

近衛兵たちを伴って先行するレアルコ、
そしてクレオーンテ、エウリストオ、エルミオーネ、アルチェステ、承前。

<p>Ant. Vedi nella mia sorte (<i>Ad Euristeo mostrandogli le catene.</i>), perfido Sposo, i superbi trofei? Cre. Taci, ed ascolta (<i>Ad Antigona, che lo guarda con disprezzo, e poi si volge altrove.</i>) perchè sin quì lo trassi. E tu comprendi, perchè teco or son io. (<i>ad Euristeo</i>) Eur. (Oh Dei!) Erm. (Che fia!) Lea. (Qual barbarie novella meditò l'inumano!) Cre. Vittima di tua mano dovea cader quella superba Donna, or son tre lustri. Infido alle mie leggi l'involasti: in Tebe, (Mirala) ritornò furia d'Averno, di Megera peggior. Di sì gran fallo, di tal perfidia rea d'uopo è che mora; quindi sin quì ti trassi, perchè adesso la sveni, e la man porga ad Ermione di Sposo. Eur. lo! Cre. Il Regio impero se adesso ancor disprezzi, paventa, che potresti seco perir. Spettacolo funesto d'uno scempio maggiore agli occhi altrui seco esporrotti. Ma a tuo danno io credo che non sarai sì folle. Orsù l'acciaro</p>	<p>アンティゴーナ 不誠実な夫よ、(エウリストオに鎖を見せて) 私 の運命に対する、誇らしげな戦勝品が見えま すか? クレオーンテ 黙って聞け (アンティゴーナは彼を軽蔑し、背を 向ける)。だから私は彼をここまで引っ張って きたのだ。(エウリストオに) なぜ私が今お前 と一緒にいるのか分かるだろう。 エウリストオ (ああ、神様！) エルミネーオ (何しているの！) レアルコ (無慈悲な野蛮人が瞑想したなんて！) クレオーンテ お前の手により高慢な女性が犠牲となつた とされてから 15 年だ。法に反してお前はそ れをかすめ取った。テーベに (よく見よ) 最 悪の地獄の鬼ばばの怒りが戻ってきた。その 大きな過ち、背信的な犯罪のために、彼女は 死ぬ。彼女の静脈を切ることになるから、こ こまでお前を引っ張ってきた。夫としてエル ミオーネに手を差し伸べよ。 エウリストオ それをせよとは！ クレオーンテ 王立帝国は、お前が今でもそれを軽蔑してい るなら、お前がそれで滅びることを恐れよ。 他人の目に大きな破壊の凶悪な光景がさら される。しかし、お前は不利益のために、そ れほど夢中にならないだろう。剣を持って行</p>	<p>43'50"</p>
--	--	---------------

<p>(Gli presenta uno stile.) e' questo: il mio comando eseguisce ora appieno. Prendi, e l'immergi a quella furia in seno.</p> <p>Eur.</p> <p>In vano, genitore inumano, t'affatichi or con me. Questa mia vita Riprenditi, se vuoi. Sì barbaro comando non sperar ch' eseguisca.</p>	<p>け (彼に短剣を示す): 私の命令が完全に実行されるようになる。手に執り、その怒りに飛び込むんだ。</p> <p>エウリステオ</p> <p>無駄だ。無慈悲な親、貴方は今私と一緒に疲れ果えています。私のこの人生を貴方が望むなら取り戻してください。野蛮な命令はそれが実行されることを望んでいません。</p>	
--	--	--

第3幕 第1場

<p>Eur.</p> <p>Frema in orrida sembianza Contro me la sorte ingrata, Sarà ognor la mia costanza Come scoglio in mezzo al mar. L'urta invano, invan lo scuote, Fiero il vento e l'atra sorte Tutto il mar che lo circonda Non lo fanno vacillar.</p>	<p>エウリステオ</p> <p>恩知らずの運命は私に対して 恐ろしい形で震えます、 私の変わらぬ心は常に 海の真ん中にある岩のようです。 運命は空しくそれを打ち、それを揺さぶり、 誇らしげな風と他の運命や 取り囲むすべての海も それを揺るがしません。</p>	<p>45'09" アリア</p>
---	---	-----------------------

第3幕 第6場

アンティゴーナ、エウリステオ、エルミオーネ、レアールコ、アルチェステ、そして近衛兵。

<p>Lea.</p> <p>(Lode agli Dei. Partì. Vivono ancora: cauto il gran colpo or ora scender farò.)</p> <p>Eur.</p> <p>Sposa.</p> <p>Ant.</p> <p>Deh taci.</p> <p>Eur.</p> <p>Oh Dei! Sdegnata ancor mi sei?</p> <p>Ant.</p> <p>Non tormentarmi. So, che odiarti dovrei: ma a queste prove chi resister potrebbe? Ah Sposo, io sono già placata con te.</p> <p>Eur.</p> <p>Del tuo perdono però qual pegno mai mi fia concesso?</p> <p>Ant.</p> <p>Prendilo, o Sposo, in quest'amaro amplesso. Or che teco, idol mio, in pace ritornai, l'ira del Padre placa almeno per te.</p> <p>Vivi.</p> <p>Eur.</p> <p>Ah che dici!</p> <p>Ant.</p> <p>D'Antigona, e di Cadmo ecco la stirpe, che in me si estingue in questo dì. Deh vivi: Che se respira ancora la Figlia, che bambina abbandonai nelle Mede foreste, chi al sen la stringerà? Chi sa che un giorno sotto al ciglio del Padre non la guidi fortuna? Le pendea dal collo Gemma, che fu tuo dono, (Forse seco l'avrà) quella è tua Figlia.</p> <p>Alc.</p> <p>Dimmi, qual gemma, qual Figlia mai rammenti, donna Real?</p> <p>Ant.</p> <p>Ascolta. Or son tre lustri, che ne' boschi di Media una bambina nacque da me.</p>	<p>レアールコ</p> <p>(神々を賛美。彼は去り、彼らはまだ生きている。今や私は注意深く大打撃を挙げる。)</p> <p>エウリステオ</p> <p>妻よ。</p> <p>アンティゴーナ</p> <p>ああ、お黙り下さい。</p> <p>エウリステオ</p> <p>何ということだ！ まだ憤慨しているのか？</p> <p>アンティゴーナ</p> <p>私を苦しめないで。私は貴方を憎むべきですが、誰がこの試練に抵抗できるでしょうか？</p> <p>エウリステオ</p> <p>ああ、私はすでに貴方に宥められています。</p> <p>エウリステオ</p> <p>しかし、貴方の許しのどんな誓約が私に与えられるのでしょうか？</p> <p>アンティゴーナ</p> <p>夫よ、この苦い抱擁を受けて下さい。愛する貴方の元に平和に戻った今、貴方のためにお父様の怒りを和らげましょう。貴方は生きて下さい。</p> <p>エウリステオ</p> <p>ああ、何言っている！</p> <p>アンティゴーナ</p> <p>これがアンティゴーナとカドモスの血統であり、今日私の中では消滅しています。ああ、貴方は生きて。私がメデの森に捨てた子がまだ生きているなら、誰が胸に抱くのでしょうか？ ある日、父の目の前に運が彼女を導かないと誰が知りましょう？ 貴方の贈り物だった宝石は (おそらく彼女はそれを持っています)、娘の首にぶら下げました。</p> <p>アルチェステ</p> <p>教えて下さい。どんな宝石、どんな娘さんか覚えていませんか、王家の御方 (おんかた) ？</p> <p>アンティゴーナ</p> <p>聞いて下さい。15年前、私はメデの森で娘を産みました。私は放浪者、亡命者として森を</p>	<p>50'20"</p> <p>・メデ=メディア、イラン北西部</p>
--	---	--------------------------------------

<p>Ramminga, esule, e sola n'andavo allora. Il caro pegno in seno un dì d'ombrosa palma al piede annoso per audrirlo mi reco. Al suol l'adatto per un solo momento. Orrida fiera allor, che in me venia, col ruggir mi spaventa. In piè balzai. Timida il pegno lascio: palpitante men fuggo; ivi poi torno riscossa dal timor: ma la bambina, oh Dio! più non trovai. Però di strage orma non vidi.</p> <p>Alc. E nelle Mede selve ciò ti sorti? Ant. Sì, nel più oscuro, e folto recinto delle palme. Alc. E son tre lustri? Ant. Ormai. Alc. Vanne, Ermione, ch' è questa la Genitrice tua; e questi è il Padre. (<i>Accenna Euristeo.</i>) Erm. Come! Eur. Che dici! Ant. Tu deliri. Lea. Oh sorte! Alc. (53'05") No, non deliro. Sì, riconosci (<i>Cava una gemma, e la porge ad osservar ad Antigona.</i>) da questa gemma, che pendeale al petto, s' è Figlia tua. Sono tre lustri appunto, che a piè d'annosa palma, mentre il gregge guidavo, bambinella giacente io la trovai. Meco allor la recai tra queste braccia nella mia capanna. Alceste ah non v'inganna: Credetelo al suo zelo; e se v'inganna mai, l'opprima il cielo. Ant. Ah Sposo, è ver: la gemma, (<i>La dà ad osservare ad Euristeo.</i>) riconosci, è tua. Mia cara Figlia ... (<i>Corre ad abbracciare Ermione.</i>) (lo manco di piacer ...) Figlia diletta ... mia speranza ... mio ben Pria di morire al mio, sen pur ti stringo. Erm. O cara Madre! Madre mia! Lea. Oh tenerezza! (Alceste, per salvarli mi siegui.) Alc. (Andiamo.)</p> <p style="text-align: right;"><i>piano al detto partono</i></p>	<p>さまよっていました。ある日、私はヤシの木の下に座って赤ちゃんに食事させていました。ちょっと置いたとき、獐猛な獣の叫び声が私を怖がらせました。私は飛び上がり、赤ちゃんを置いて逃げてしまいました。ほどなくして、恐怖に満ちた私は彼女のために戻りました。しかし、なんとということでしょう、その子をそこで見つけることはできませんでした。しかし、流血の兆候はありませんでした。</p> <p>アルチェステ メデの森で起きた? アンティゴーナ はい、最も暗く最も密集したヤシの森の中です。</p> <p>アルチェステ そして15年が? アンティゴーナ 今となっては。 アルチェステ 来なさい、エルミオーネ、貴方の母親ですよ、こちらが父親です。(エウリステオを指す。)</p> <p>エルミオーネ どうして! エウリステオ 何を言っているのですか! アンティゴーナ 貴方は気まぐれです。 レアールコ おお、運命だ! アルチェステ いいえ、気まぐれではありません。(彼は宝石を手に取り、アンティゴーナに渡して観察する)胸に下がっている宝石でお分かりでしょう、貴方のお嬢様です。実に15年経ちます。古い椰子の木の根元で群れを案内していると、横になっている女の赤ちゃんを見つけました。私は彼女を抱えて小屋に運びました。ああ、アルチェステは貴方を欺きません:彼の熱意を信じてください。そして貴方をだましているなら、天の神々はそれを罰します。</p> <p>アンティゴーナ ああ夫よ、本当です:宝石を(観察のためにエウリステオに渡す。)見て下さい。貴方のものです。私の愛する娘... (彼女はエルミオーネを抱きしめに走る。)(喜んではいられない...)最愛の娘... 私の希望... 私のいい子... 死ぬ前に、しっかりと貴方を抱きしめます。</p> <p>エルミオーネ 親愛なる母よ! 私のお母様! レアールコ ああ、優しさが! (アルチェステ、彼らを救うために私に従ってください。)</p> <p>アルチェステ (行きましょう。)</p> <p style="text-align: right;"><i>彼らは静かに退場</i></p>	
--	---	--

第3幕 第7場

アンティゴーナ、エウリステオ、そしてエルミネーオ。

<p>Eur. Ah vieni (<i>ad Ermione</i>) dolce cura d'un Padre, vieni al paterno sen.</p>	<p>エウリステオ ああ、(エルミオーネに)父性の優しい心遣いに浸りに、父の胸に来なさい。</p>	<p>54'03"</p>
---	---	---------------

<p>Erm. Mio Genitore, Padre amato, t'abbraccio. Ah perdonate ambi i trasporti miei, moti del sangue, che intender non sapevo. Ant. Or lieta moro, (<i>ad Euristeo</i>) che la Figlia abbracciai. Eur. Or che la trovo, ho già vissuto assai. (<i>ad Ant.</i>) Ant. Ah ceta quel pianto, non tanto dolor. Eur. Deh Figlia, il tuo affanno mi lacera il cor. Erm. E' giusto il tormento, che sento nel sen. Ant. Consolati. Addio Eur. Ti lascio, o mia speme. Erm. Lasciate, che insieme ne venga a morir. Ant. Deh resta ... Erm. Non posso. Eur. Sì Figlia. Erm. Non deggio. a3 Che barbara sorte! Men fiera è la morte Di questo martir. Ah ec. <i>partono in mezzo alle Guardie</i></p>	<p>エルミオーネ 私の父、愛するお父様、貴方を抱きしめます。ああ、知らなかったゆえの私の有頂天、血の騒ぎの両方を許してください。 アンティゴーナ 今、(エウリステオへ) 私は娘を抱きしめたことを嬉しく思います。 エウリステオ 彼女を見つけた今、私はすでに多くの年を取ってしまった (アンティゴーナに)。 アンティゴーナ ああ、泣くほどの痛みではありません。 エウリステオ ああ、娘よ、心配が私の心を引き裂く。 エルミオーネ 私が胸に感じる苦痛は正しいようです。 アンティゴーナ 諦めなさい。さようなら… エウリステオ 私は貴方を残します、私の希望よ。 エルミオーネ 貴方たちと一緒に死なせてください。 アンティゴーナ ああ、残りなさい… エルミオーネ 私にはできません。 エウリステオ はいと言いなさい、娘よ。 エルミオーネ 私には言えません。 三人 なんて野蛮な運命だろう！ 誇りに思うのは、この殉教者の死です。 三重唱の最初から繰り返す 彼らは近衛兵の真中に退場</p>	<p>三重唱</p>
---	--	------------

第3幕 第9場

レアールコ、次にクレオーンテ、多くの従者がいる。

<p>Cre. I falli atroci (<i>al seguito</i>) d'una perfida donna sì vedrete, o Tebani, come il Re punirà. (<i>va sul Trono</i>) La coppia rea già vien. D'un Re sdegnato provi una volta alfin l'ire funeste.</p>	<p>クレオーンテ 王がどのように罰するか (従者たちに)、テーベ人よ、不実な女性の凶悪な過ちを見るだろう (玉座に向かう)。有罪のカップルはもう来ている。憤慨した王の致命的な怒りをついに感じる。</p>	<p>58'00"</p>
---	--	---------------

第3幕 第11場

息切れしているようなアルチェステ、そして承前。

<p>Alc. Ah Signor ... corri ... difendi ... salvati omai. Cre. Che fu? Spiegati. Ancora (<i>scende dal Trono</i>) intenderti non so. Alc. La Reggia tutta cinta è d' armi rubelle. Il Popol freme, chiede la sua Regina. Cre. O Stelle! Alc. Accorri. Sull'ingresso lasciasti pochi de' tuoi alla difesa.</p>	<p>アルチェステ 王様… 今すぐ防御して… お逃げ下さい。 クレオーンテ 何が起こった? 説明せよ。(玉座から降りてくる) よく分からぬが。 アルチェステ 宮殿全体が反乱軍に囲まれています。民衆は奮い立ち、女王を求めています。 クレオーンテ おお、運命の星よ! アルチェステ 急いで。入り口に近侍の何人かを防衛に残しました。</p>	<p>58'30"</p>
---	---	---------------

<p>Lea. Il solo necessario riparo, mio Re, è l'aspetto tuo. Cre. Sieguimi, Alceste. Seguitemi, o Custodi: e tu, Learco, Custodisci quell'empia, sinchè il Popol ribelle avrò disfatto. <i>(Parte seguito da una banda di Guardie sollevate, e da Alceste.)</i></p> <p>Alc. (Già cadde nell' insidia. Il colpo è fatto.)</p>	<p>レアールコ 唯一の必要な避難、私の王様、それは貴方のお姿を隠すことです。 クレオーンテ 私についてこい、アルチェステ。おお近衛兵よ、其方、レアールコよ、反抗の輩が元に戻るまで、その不信心者を監視せよ。(彼は立ち去り、続いて近衛兵の楽隊が立ち上がり、アルチェステが続く。) アルチェステ (彼はすでに罠に落ちた。効果はあった。)</p>	
---	--	--

第3幕 第12場

アンティゴーナ、エウリストエオ、エルミオーネ、レアールコおよび近衛兵。

<p>Eur. Sposa, Figlia, Learco, ove mi volgo non miro che perigli. Lea. Eh son finiti già gli affanni per voi. Sciolgansi ad ambi <i>(sono tolti i ceppi ad ambi)</i> quell'indegne ritorte. Ascendi al Trono, degno germe di Cadmo. Ognun di noi fido vassallo, o Antigona, t'inchina: Su quel Soglio t'acclama ognun Reina. <i>(Mentre Antigona ascende in Trono odesi sinfonia, e si vede illuminare la Città in lontano.)</i> Erm. Oh contento! Eur. Oh piacer! Lea. La Madre alfine, illustre Principessa, di salvarti ebbe il merto. Ant. Ed or la Madre a tanta fede, e zelo tua Sposa la destina. Erm. Ed io m'accheto della Madre al voler.</p>	<p>エウリストエオ 妻よ、娘よ、レアールコよ、どちらを向いても危険だらけだ。 レアールコ ああ、悩みはもう終わりました。価値のない鎖は解きましょう <i>(鎖は両者からほどかれる)</i>。立派なカドモスの末裔よ、王位に就きなさい。私たち一人一人が、信頼できる家臣です。アンティゴーナよ、貴方に頭を下げます。その玉座で誰もが貴方を女王と称賛します。 <i>(アンティゴーナが王位に就くと、シンフォニアが聞こえ、市街が遠くに明るく見える。)</i> エルミオーレ ああ、嬉しい！ エウリストエオ おお、よかった！ レアールコ 輝かしい王女様、母上のお陰で貴方は救われたのです。 アンティゴーナ そして今、母は彼女を貴方の花嫁として、運命を信じ、非常に熱意を持っています。 エルミオーレ 私は母が望むことを受け入れます。</p>	<p>59' 05"</p> <p>リブレットではエルミオーレ</p>
---	---	-------------------------------------

第3幕 最終場

アルチェステに率いられて鎖につながれた戦意を失ったクレオーンテ、従者、そして承前。

<p>Alc. Regni Antigona, e il barbaro s'uccida. Cre. Stelle, che ascolto! Che veggio! che rimiro! Assisa in Trono la mia crudel nemica! Alc, Confuso è l'empio. Cre. Ah sì, s'uccida; mora Creonte omai. Sdegno la vita, i giorni: Giacchè per frode altrui qui più non sono nè Sovrano, nè Re. Ant. Sì, scellerato, il castigo otterrai. Viva per suo tormento, per sua pena maggior. Così punito dalla Reggia lontano ei viva in avvenire. Alc. (Oh generosa!) Lea. Oh magnanima, e degna del Sangue, onde</p>	<p>アルチェステ アンティゴーナが治め、野蛮人は自死です。 クレオーンテ 運命の星よ、何ということを見聞きするのか！ 残忍な敵が玉座に座るとは！ アルチェステ 悪人は混乱しています。 クレオーンテ ああ、自殺せよ。クレオーンテは今死ぬのだ。私は人生、日々を軽蔑する。この輩の陰謀により、私はもはや主権者でも王でもない。 アンティゴーナ 悪党です。貴方は罰を受けるでしょう。苦痛のために、より大きな痛みのために生きなさい。このように罰せられ、宮殿から遠く離れてこれから生きていきなさい。 アルチェステ (ああ、寛大だ！) レアールコ おお、度量が大きい。貴方が受け継ぐ血に値</p>	<p>59' 51"</p>
---	---	----------------

<p>discendi! Eur. Ah Padre ... Cre. In pace lasciami adesso. Ant. Sì, co'suoi rimorsi (<i>ad Euristeo</i>) lascia che si consigli. Indi pentito goda in veder, che regni chi spogliata da lui fu un dì del Trono; ed il frutto io vedrò del mio perdono. CORO. O grande, o generosa Di Cadmo eccelsa Prole, Sfavilla più del Sole Oggi la tua pietà. Vivi felice, e regna, Che ten rendesti degna, Onor di nostra età. O grande ec. <i>FINE DEL DRAMA.</i></p>	<p>する！ エウリステオ ああ、父上… クレオーンテ 今は放っておいてくれ。 アンティゴーナ 反省とともに (<i>エウリステオ</i>へ) 彼に忠告させて下さい。悔い改めた者は、ある日王位を剥奪された者が君臨するのを見て喜ぶでしょう。そして私は赦しの実を見ることでしょう。 合唱 おお、偉大なる、おお、寛大なる カドモスの高貴な末裔よ。 貴方の慈悲は 今日の太陽よりも輝いています。 幸せに暮らし、君臨してください。 私たちの時代の 名誉に値するものを保持して。 繰り返す ドラマの終わり。</p>	<p>合唱 2011 上演は第 2 幕 でドラマの終わり</p>
---	--	--

1. 翻訳上の特記事項

- (1) 歌詞は 2011 セゲド (ハンガリー) 上演に基づいています。
- (2) この上演は 1774 トリノ上演のオリジナルリブレットから大幅にカットされています。但し歌詞の追加や改変はありません (役の入れ替えが一部にあり、その箇所は明記しました)。
- (3) 歌詞が一部カットされている場合、その場に登場しなくなる人物もありますが、各場の最初に記載の登場人物の表記はオリジナルリブレットのままとしてあります。同様に場の情景の説明もオリジナルリブレットの通りです。場の順序に関しては番号を変えずに 2011 の上演順に配置し直しました。
- (4) ロッカフォルテの文章は難解で翻訳に梃子摺りましたが、セゲド上演のハンガリー語字幕が大いに助けとなったことを報告しておきます。
- (5) 第 3 幕 第 1 場のエウリステオのアリア *Frema in orrida sembianza* は 1774 トリノ上演のリブレットにはありませんが、パート譜が残っています。歌詞は Youtube のコメント欄への投稿から引用させていただきました。なお、アリアが第 3 幕 第 1 場で歌われたと特定できるエヴィデンスは見つかりませんでした。

2. 2011 セゲド上演データ

Joseph Mysliveček: *Antigona*. *Dramma per musica*, Libretto by Gaetano ROCCAFORTE
 Competition role: Ermione (lyric soprano with coloratura) - Raquel CAMARINHA (born in Braga, Portugal in 1986); Other Cast: Antigona - Rosa Elvira SIERRA (Mexican soprano), Creonte - Giovanni COLETTA, Euristeo - William LOMBARDI, Learco - Annina HAUG, Alceste - Nathalie COLAS
 With: the Szeged Symphony Orchestra
 Conductor: Moritz CAFFIER
 Set and costume design: Martin WARTH
 Costumes: DEBRECZENI Ildikó
 Lighting design: Claude RAST
 Dramaturgist: Merle FAHRHOLZ
 Assistant director: Selina GASSER
 Assistant dramaturgist: Isabelle BISCHOF
 Dramaturgist trainee: Loredana CATALANO
 Correpitition: Moritz CAFFIER, Harald SIEGEL
 Director: Andreas ROSAR
 A production of Théâtre Bienne-Soleure (Bienne, Switzerland)
 Szeged Arnel Festival 2011 on 8.10.2011
<https://www.youtube.com/watch?v=JAMIBDJ2d-0>
<https://www.youtube.com/watch?v=iC96IeSig1U>

3. 1774 上演資料

- (1) リブレット
Antigona. *Dramma per musica da rappresentarsi nel Regio Teatro di Torino nel carnovale del 1774 alla presenza delle maestà loro.* - Torino: Onorato Derossi, [1774], D-Mbs: München Bayerische Staatsbibliothek: L.eleg.m. 3941. 初演は 26/12/1773 とされている。
- (2) 楽譜
 全曲楽譜の在処は RISM からは検索できませんでした。Frema in orrida sembianza の楽譜は RISM ID no.: 400012569 にあり、スイスの Einsiedeln, (CH-E): 700,20 (Ms.4664)所収で、Tauber, [Margarete]による 9.2.1774 Torino の上演との注記があります。

(翻訳: 神戸モーツァルト研究会 野口秀夫、作成: 2022 年 8 月 13 日、改訂: 2022 年 9 月 5 日)